

日本労働年鑑 第55集 1985年版  
The Labour Year Book of Japan 1985

第二部 労働運動

XI 労働組合と平和・社会運動

5 反戦闘争

八・一五への取り組み

「終戦記念日」に先立つ八月一四日、渋谷ハチ公前において「戦争への道を許さない女たちの連絡会」の主催で三回自の「反戦マラソン演説会」が開かれ、紀平梯子婦人有権者同盟会長など女性ばかり約六〇人が交代して連続七時間の演説会を開いた。またこの日、家の光会館では約一〇〇人が参加して日本戦没学生記念会の「83わだつみ会八・一五の集い」が開かれたり、八王子市から国会までの四二キロを歩いて平和について考える三回目の「83ピース・マラソン」が三〇人の参加でおこなわれるなどの取り組みもあった。

戦争犠牲者追悼・反戦平和式典

八三年八月一五日、東京・千鳥ヶ淵の戦没墓地において、総評・社会党・中立労連・新産別・護憲連合の共催で「八・一五戦争犠牲者追悼・反戦平和式典」が開催され、約三〇〇人が出席した。席上、黒川総評議長が「追悼の言葉」を述べ、真柄総評事務局長が「反戦平和への誓い」を読みあげた。また、飛鳥田社会党委員長も「平和の誓い」を述べた。

「日本のことを考えていいかな」シンポジウム

また、八月一五日には、総評会館の主催、総評教宣局と国民文化会議の後援で、シンポジウム「日本のことを考えていいかな 一九八三年八・一五集会」が総評会館ホールで開かれ、高校生や大学生など約二〇〇人が出席した。パネラーには都内の高校生四人をはじめ、日高六郎・鄭敬謨・加納実紀代氏の各氏があたり、夕食をはさんで延々六時間にわたって討論がおこなわれた。

二つの国際反戦デー中央集会

米軍による北ベトナム爆撃に抗議して総評のよびかけで一九六六年に始まった国際反戦デーは八三年で一八回目を数えたが、東京では三年つづきで社・共両党系に分かれて二つの中央集会が開かれた。八三年の反戦デーは、一〇・一二田中判決直後ということもあって、各団体のスローガンには田中即時辞職要求が目立ち、総選挙ふくみの緊迫した政治状況を反映して政治色の濃い集会となった。

日比谷野外音楽堂で開かれた総評・東京地評・社会党・護憲連合・原水禁主催の中央集会には約五〇〇〇人が参加。集会では、真柄総評事務局長、高沢社会党副書記長の主催者を代表してのあいさつ、山口社会党国対委員長の国会報告につづいて、梶谷善久氏(評論家)が「核戦争をめぐる国内外の危機的状況について」と題する問題提起をおこなった。集会は最後に、「ただちに国会に田中角栄の辞職決議案を上程、可決し、田中角栄を辞職させるよう要求」した「集会アピール」を採択した。なお、「反米的色彩が強すぎる」などの理由で八二年の中央集会への参加を拒否した中立労

連と新産別は、八三年の集会も不参加を決めた。

他方、代々木公園B地区で開かれた安保破棄・諸要求貫徹中央実行委員会・同東京実行委員会主催の中央集会には約二万五〇〇〇人が参加。集会では、近藤一雄事務局長の主催者代表あいさつ、寺島アキ子全国革新懇代表世話人の来賓あいさつの後、不破共産党委員長が各界一二人とともに決意を表明した。集会は最後に「宣言」と「田中角栄の即時辞職を要求し、ロッキード疑獄の徹底究明を要求する特別決議」を採択し、国会などに向けてデモ行進をおこなった。

なお、八三年の一〇・二一全国統一行動としては、前年より三道具少ない、青森、岩手、秋田、宮城、福島、埼玉、新潟、山梨、長野、静岡、岐阜、石川、富山、滋賀、和歌山、島根、香川、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本の二二県で、社・共両党系の統一集会が取り組まれた。

## 東京大空襲記念集会

東京大空襲から三九年目の三月一〇日を前にした八四年三月八日、東京・江東公会堂において、都教組や「東京大空襲を記録する会」などで構成される実行委員会の主催で「東京大空襲記念集会」が開催され、約六〇〇人が参加した。集会は、映画「子どもたちの昭和史」の第二作「一五年戦争と教師たち」の初公開ではじまり、「記録する会」の橋本与志子さんのあいさつ、早乙女勝元・山口勇子・下里正樹三氏のてい談、増田孝雄都教組委員長のよびかけなどがおこなわれた。

## 再び許すな東京大空襲！反戦平和の集い

三月九～一〇日、佐野東京地評議長などが代表よびかけ人となって、第三回の「再び許すな東京大空襲！反戦平和の集い」が延べ五〇〇〇人の参加で取り組まれた。三月九日は、両国公会堂において、「若者のひろば」と「ノーモア戦争シンポジウム」が開かれ、軍事評論家の前田哲男氏などから問題提起がなされた。三月一〇日には、両国公会堂、横網公園、江戸川文化センターを舞台に「慰霊碑めぐり平和散歩」「大空襲写真パネル展」「親から子へ平和のバトンを！親と子の交流の集い」「反戦バザール」「平和コンサート」などが催された。

日本労働年鑑 第55集 1985年版

発行 1984年12月15日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月21日公開開始

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1985年版(第55集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---